

明治廿二年三月

平代の友 壹

桑名星野會

伊藤文庫
219
1

市立図書館蔵

月初會無題

都雪

三崎 歸厚

きみかまのひふりもいまま 宇つむらむ みやこのそらもゆきのふりつ

山田 治三郎

みやまよはゆきやいかよとひととははやへこのへのはなとこたへむ

千葉 美胤

みやこよ ゆきさむけれとどみくさの あきのたのみ つもるうれーさ

加藤 新一郎

はなくらハをりてかさむみやこよゆきさめつらさきとのあらゆき

久住 亮昌

やまさとはいかよみるかはあらゆきの つもれるのはなのみやこを

濱村 可壽

みきおくる ひらのやまかせさむけれとゆきよはなのみやこなりけり

岩崎帯之

はなとのみみやこのゆきははるあきのやまのよきよおくれさゆけり

鬼島廣就

ふりつるほとなきゆきもはなとのみみやこのひとハふかくめつらむ

鬼島嘉吉

ふりつるゆきもいとほきみやひとのゆき、まけきはみやこなりけり

伊藤縣道

はるならてはなのみやことなりよけりやなきさくらに つもるーらゆき

橋爪正表

はるまたてみやこおほちのさくらなな おもかけみせて つもるーらゆき

平野美純

みわたせばやなきさくら入 うつもれてみやこまふゆハゆきのーらたへ

中川清之

ゆきかひのーはみやこのまみかよのみちうつまぬけさのーらゆき

初會延筵當座探題

春氷

たにかせよとくれとまたもこほるあむるのひかきもあさなあさなは

殘雪

はるをかくやまをかきみようつもれてわつかよのころへのーらゆき

梅風

うめのはなはほひもふかきはるかさまのどけさちかくならむとおもふ

子日友

うちつれてねのひのへにひくまつのうまもかはらぬいろよみわけり

朝霞

あまのどハおほろなからまけやらそとおもふはふかきみなりけり

待露

はるかきみたつたのやまよたちよりまたるゝものはうくひまのこゑ

可壽

餘寒

沿三郎

はるかせもまたさむければやまやまはなほしちたへのところもかさねつ

柳露

正表

つらぬけるたまごこそみれあをやまのいとそかすそふつゆのひかりき

春月

嘉古

はるもまたつきのなかめハさむけれとるめのまほひハうれしかりけり

山巖

廣就

おくやまもはるハわらびのゆわいててをりをりひとのとひこそハくれ

若葉

亮昌

のとかなるごころよつれてかすかハひもあまたのわかなつむらむ

立春

歸厚

あつさゆみはなてうことこのうれしハひとのこころはまつやたつらむ

早春

清之

あつさゆみのたねもつらむむらむてゆきまはるのいろハみ入けり

この歌はよごとくよとよはあらざめれさうひ
の人もあれバみやまかるくひとつよあつめて
活字よせむまたまとのかぎのほかなる人々にも
みせてわが國ぶりにとよにこころをなくさめまじ
かばとおもふまにかくはものしつ

幹事

